

その名大口

誇りと愛着のある学校

H 2 8 年 9 月 1 6 日

※最高の天気に恵まれた体育祭（9/10）。体育委員長田畑君の「宣誓」に、感動し壇上から拍手を送りました。各応援団は夏休みから、2年の「集団行動」は早朝からの自主練習と、当日は最高の歓喜・元気を発信してくれました。



3 学年応援団長（黄軍） 鎌田優哉君

応援団長として3学年をまとめていくことになりましたが、うまく学年全体を引っ張っていかず、周りの人達に支えてもらいました。体育委員には、競技決めやフォークダンスの振り付け



※3年生は最後の体育祭、綱引きにも気合いが入ります。

など自分の仕事も大変なのに、いろいろな面でサポートしてもらいました。また応援団員は最初、全くまとまりがなく、練習日にも全員が揃うことがなかなかありませんでした。しかし、ビデオで自分達の演舞のあまりのお粗末さにショックを受け、練習方法の改善を皆で話し合い、それまで以上に声を掛け合いながら練習することにより気持ちと演舞が揃うようになってきました。団長としてうまくまとめることができないときは副団長やその他の団員たちが本当に支えてくれました。こんなに頼りない団長についてきてくれて本当に感謝しています。

私たち3学年は、持ち味である「仲の良さ」と「前向きな姿勢」を生かして一致団結し、完全優勝することができました。体育祭当日は勝敗がわかる前から悔し涙を流す人や嬉し涙を流す人がいましたが、その涙は美しいものであり、これを超える美しい涙はありません。全力でぶつかり、必死になって戦って、何度も何度も練習して努力したからこそ流せる涙だと思います。体育祭は皆が主人公で私たちが作り上げたものですが、常に誰かが準備をし、運営して支えてくれる人がいるからこそ体育祭は成功したのだと思っています。この体育祭を通して、感謝の気持ちの大切さと支え合うことの重要性を学ぶことが



ができました。この体育祭で3学年が示した「やる気」と「努力」は、これからの進学・就職のための受験の際に大きな自信となると確信しています。そして、今の誇らしい気持ちと「やればできる」という自信をこれからも持ち続けていきたいと思っています。

2 学年応援団長（赤軍） 今田響介君

今年の体育祭には、僕たちは昨年のリベンジをする意気込みで臨みました。2学年はやることが多く、集団行動は夏休みを利用して練習しましたが、なかなか上手くいかず途中不安な気持ちになることもあ

りました。集団行動以外にも、応援団や競技練習もしなければならず大変でした。応援団は12人という少人数でスタートし、最初は全然上手いかないうに、部活動等でなかなか人数が揃わず、本番までに間に合うか心配でした。しかし、体育祭が近づくにつれ、皆の意識が高まり団結力ができてきて、前回までできなかった事ができるようになったり、互いに自然と声を掛け合ったりする等大変よい雰囲気になりました。

体育祭当日、最初のエール交換でミスが出て、後の競技が心配になりました。案の定、1年生には競技では勝ったけれど、やはり3年生にはなかなか勝てず、リレーでは予想外の事が起きて、怪我人まで出てしまいました。しかしながら、集団行動では練習の成果が出て、交差や人間起こし、ダンス等全て上手くできました。指導してくれた龍本先生に最高の集団行動を見せることができたと思います。応援演技のときは、大変緊張していたので上手くいか不安でしたが、最後の演舞を終えて全てやり遂げたという達成感と同時に充実感に満ちあふれていました。結果発表で3年生が優勝と聞いたとき、こんなに懸命にやってきたのに優勝できなかった悔しさと同時に来年こそ3冠をとって、笑顔で終われるように頑張りたいと強く思いました。最後に、集団行動を始めとして体育祭の準備から本番までの取り組みを通して学び得た事を、今後の普段の生活にも生かして過ごしていきたいと思います。



1学年応援団長(青軍) 加治木脩斗君

私たち1年生は、高校で初めての体育祭でした。初めてで不安なことが多く、先輩方に迷惑をかけたりました。しかし、先輩方のサポートなどで体育祭は、無事終了させることができました。

そのような何もかも初めての中、自分は応援団長という大事な仕事を務めました。学年のみんなや団員をどうやってまとめ、先輩方に勝てるか考え頑張りました。競技の部では、たくさんの案を出し合いながら、みんなで協力し練習をしました。しかし、先輩たちには全く歯が立ちませんでした。だから、



来年はもっと練習して勝ちたいと思いました。応援の部では、まず、どのような演舞をするかから始まりました。一通り決まったのですが、時間が短く、これでは先輩方には勝てないと思いました。そこで私は動きの「キレ」を良くして、美しく見せるために、動きを揃えたり、声を大きく出すことに力を入れました。そして、団員をまとめながら練習を頑張りました。日がたつにつれて、みんなのまとまりもさらに良くなり、本番はよい演舞を十分披露できました。少しのミスはありましたが、自分たちとしては完成できたのではと思いました。それでも、先輩方の演舞はさらにすごく、感動しました。

大口高校の体育祭を初めて経験してわかったことは、先輩方の団結力です。来年はそれをバネにぜひ勝ちたいと思います。